

## パブリックコメント実施結果について

第2次阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画（案）について、意見募集を行った結果、1名の方から7件のご意見をいただきました。

今回いただいたご意見の概要と、これに対する市の考え方を公表します。

### ○案件名

第2次阿賀野市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画（案）について

### ○募集期間

平成24年4月6日（金）から平成24年4月17日（火）まで

### ○募集方法

市広報紙およびホームページに掲載し意見を募集しました。

### ○提出人数及び提出方法

提出方法	提出人数	意見数
窓口	0	0
電子メール	1	7
郵送	0	0
ファックス	0	0

### 1 阿賀野市の犯罪の現状について

No.	提出いただいた意見の概要	市の考え方
①	<p>犯罪の発生数のみ述べられているが、検挙率も入れないと実態がわからない。記載にあたり、犯罪の具体例も記入したほうが良い。</p> <p>現在の犯罪は広域化しているので、阿賀野市だけでなく、周辺市町村の実態も示し、他地域の実態から犯罪の動向を推測したほうが良い。（外国人犯罪、ネット犯罪、寄付金詐欺や高齢者宅への押し売り詐欺など）</p> <p>また、不法投棄も犯罪であり、その実態も示す必要がある。</p>	<p>犯罪検挙率は、その年の刑法犯の検挙件数を、被害届を受理したり通報を受けたりして犯罪の発生を認知した件数で割った数ですが、それぞれ認知あるいは検挙した時点の年の件数に数えられます。そのため翌年に検挙した場合は、認知件数との整合性が取れなくなり、単純に比較ができません。また、当市のように件数の少ない場合は数値の変動が大きくなるため、傾向を見るにも適していないため掲載はしていません。</p> <p>現在の犯罪の発生状況ですが、ご意見のとおり、犯罪は広域化しています。周辺市町村の犯罪発生状況を含めた具体的な犯罪発生例については、今後メ</p>

	<p>ール配信や広報、自治会回覧文書等で情報発信をしていきます。</p> <p>また、不法投棄について、市職員や環境保全巡視員がパトロールし、不法投棄の実態を調査しています。不法投棄や放置自転車などは、犯罪を誘発するサインとしてとらえ、今後も実態の把握と環境美化に努めていきます。</p>
--	--

## 2 安全で安心なまちづくりの基本方針と目標について

No.	提出いただいた意見の概要	市の考え方
①	環境づくりの「割れた窓理論」について、具体例なども示して、軽微なことのサインが出たときに解決する大切さを強調してほしい。	犯罪の未然防止には、軽微なサインを見逃さないことが重要です。具体例を示して記載します。
②	目標値の設定について、市内の犯罪の発生件数の目標値は「ゼロ」を目標にすべき。あくまで目標は高く。	究極の目標は犯罪発生件数「ゼロ」ですが、目下の目標を設定し、計画的に取り組んでいきます。
③	公園にテレビなどを捨てていく人がいるので、目標に不法投棄も入れてほしい。	不法投棄は、犯罪を誘発するサインとしてとらえています。不法投棄の実態把握に努め、注意喚起する情報提供や環境美化に努めますが、この計画では目標値を定めることは考えていません。

## 3 施策の展開について

No.	提出いただいた意見の概要	市の考え方
①	防犯灯について、防犯灯が付いて明るくなることによって、公園が中高生、不審者などのたまり場になる。そのような場所には防犯カメラの設置が有効であるので、具体策に入れてほしい。	公共の場への防犯カメラの設置については、プライバシーの侵害につながる一面もあることから、画像の取扱いや秘密の保持などの運用規程の整備、また設置費用等の問題があるため、犯罪の発生状況を踏まえながら検討していきます。

②	水原駅の駐輪場に、自転車盗難などの抑止のため、防犯カメラを設置してほしい。	同上
③	たまり場対策も入れてほしい。見かけると時々声掛けしているが、抜本的な対策が必要。	防犯に配慮した道路、公園、駐車場等の整備項目に、施設がたまり場にならないよう夜間照明の適正な管理に努めることを追加します。